

---

# 令嬢詐欺

スイッチ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

令嬢詐欺

### 【Nコード】

N1089K

### 【作者名】

スイッチ

### 【あらすじ】

兄は妹の真実を知っている。

俺の妹を見ると、同級生は揃って羨ましいと裏で合わせたように言う。

盛り上がる男共。

何も知らなければきつとこんなものなのだろう。

「見た目に騙されてんだよ」

俺は真実を知っている。

……よ。

……めよ。

……覚めよ。

「目覚め、」

「うるせえええつ！」

朝っぱらから耳元で威厳ボイスを発する妹に、すっかり目が覚めてしまう。

目覚めよって。

お前の中で俺は一体何者なんだよ。

「目覚められましたかな？」

ベッドから半身を起こした俺に、ありもしない顎髭を満足そうに撫でる仕草をする。

「……お蔭様ですっかりな」

出来るだけ不機嫌に見えるようにしたつもりだったのに、妹は懲りる様子もなく、

「次は朝飯なのじゃ」

と、しゃがれた声を出すと優雅な足取りで部屋から出ていった。

「ドア、閉めてけよ」

繋がった廊下の奥からホッホッホッと、好々爺を真似た笑い声が聞こえたが全力でスルーしておいた。

戻ってくる様子はない。

仕方なく抗い難いぬくもりを持つベッドから抜け出し、開けっばなしのドアを閉めて溜め息をつく。

ああ。

なんであんな性格になったんだと。

つまるところ。

妹はオタクだった。

きっかけは俺だったが、後は本人が勝手にのめり込んでいったんだから防ぎようがない。

三月に入って数日間は中学三年生だったが、今は卒業後、入学前と何処にも属していない身分である。

高校生活の準備期間と称する人もいるらしいが、妹は毎日だらだらしているだけ。

確かに見た目だけなら妹は清楚でおしとやかだ。

外では本性をさらけ出さず見た目通り振る舞っているなら、深窓のなんたらだとか呼ばれてもおかしくはない。

だがそれは詐欺だ。

「ねえー？」

男の庇護欲を巧みにくすぐる甘いソプラノーンも、周囲を騙す道具に過ぎない。

「今日の新聞ないー？」

それぐらい自分で探せと無視しつつ、ちらりと横目で妹を見ている。

「……足でリモコン扱う深窓の令嬢がどこにいるんだよ」

「なにか言った？」

「なんでもない」

やがてテレビが映したのは少し癖のある絵でマイナーな漫画が原作のアニメ。

オープニング曲を口ずさみ、うきうきとしている妹。

妹さんと付き合わせて下さい、お兄さん。と、ほざいてた阿呆が隠された本性を知り玉砕している姿が目に見え浮かぶ。

違うんだ。

違うんだよお前ら。

妹はお前らの想像する聖女なんかじゃないんだよ。

脳内に積み上がる玉砕された男の山を見上げて溜め息をつく。

世の男共はどれほどまでに浅はかなのだろっ。

（後書き）

もっと長くてぐだぐだ気味だった話をショートショートに。

いきなり話が途切れたと思った人は当たりです

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1089k/>

---

令嬢詐欺

2011年1月16日10時01分発行